


令和 4 年度 福祉保険部 組織目標と成果

課名等	福祉課	全体	20
		個別	05-01

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	福祉と医療の体制を整える											
項 目		高齢者の生きがいの創出											
取組の内容		<p>高齢者の豊かな経験・知識や技能を生かせる臨時的・短期的な就業の場を提供することで「生きがい」の確保や高齢者の能力を大いに発揮できる活力ある地域社会づくりのために、会員の確保及び業務の拡大により、年間就業延人日数4,700人日を達成します。</p>											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの一般社団法人設立 ・会員 170人 ・年間就業延人日数 4,700人日 											
SDGs指標								達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集の周知、拡大		→											
業務内容の市民への周知		→											
関係者会議の開催		■	■		■		■		■		■		
一般社団法人設立総会													■


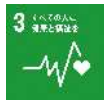

指標 に対する 実績	<p>○一般社団法人対馬市シルバー人材センター設立（令和5年3月1日）</p> <p>○会員数及び年間就業延人日数</p> <p>令和2年度 162人 4,322人</p> <p>令和3年度 168人 4,509人</p> <p>令和4年度 179人 4,231人</p>	
	評価	<p>一般社団法人対馬市シルバー人材センターを令和5年3月1日に設立しました。</p> <p>シルバー人材センターの会員増加は目標以上となりましたが、年間就業延人日数は、夏期に猛暑が続いたため、会員の体調を考慮し、屋外作業の受託を制限したことが大きく影響し、目標には届きませんでした。</p>
今後の展開	評価記号	△
今後の展開	<p>令和5年3月1日、一般社団法人シルバー人材センターの設立に伴い、各拠点を中心として、更なる会員の拡大を図り、業務量の拡大につなげていきます。</p> <p>※令和5年4月1日の機構の改革に伴い、シルバー人材センターの担当課は、長寿介護課へ移行しました。</p>	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度

福祉保険部

組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとつづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		あらゆる貧困の解消											
取組の内容		心豊かに安心して子育てできる環境を整えるため、次の形態の貧困解消に取り組みます。 ①地域コミュニティ貧困 →ファミリーサポートセンター事業の充実 ②マンパワー貧困 →保育事業及び放課後児童クラブ事業等の整備 ③危険防止の視点貧困 →保育施設等にかかる安全点検の徹底											
指標（数値目標）		①広報つしま等の活用による依頼会員の30人登録と利用件数200件 ②民間事業所とのタイアップによる待機児童ゼロ ③保育施設11か所等の点検による事故件数ゼロ											
SDGs指標					達成時期			令和5年3月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① ファミリーサポート事業		→											
② (仮) 豊玉認定子ども園建設 (達成時期：令和5年度末)		→											
② 放課後児童クラブ現地調査・対策		→											
③ 保育施設等の危険点検調査と対応		→											

課名等	こども未来課	全体	21
		個別	05-02

指標 に 対 す る 実 績	①依頼会員30人登録、利用件数126件 ②待機児童数 ・保育所 14人(0歳児のみ) ・放課後児童クラブ 0人 ③事故件数 0件	
評 価	①市ホームページをわかりやすくリニューアルし、CATV及び広報により周知を徹底しました。また、島内全小学校を訪問し、事業説明を行いました。 ②放課後児童クラブの待機児童は、施設拡充により解消できましたが、保育所については、入所希望施設の保育士不足により待機児童が発生しました。 ③点検結果により35件の修繕を実施し、事故の未然防止につなげました。	
	評価記号	△
今 後 の 展 開	ファミリーサポートセンター事業については、コロナ収束による利用者増を見込み、支援体制を強化します。 また、こども園開設に向けては、建設・運営両部門において慎重に進め、誰でも喜んでいただけるこども園の実現に注力します。	


【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度

福祉保険部

組織目標と成果

課名等	保護課	全体	22
		個別	05-03

総合計画 の区分	挑 戦	対象外												
	最優先課題	対象外												
項 目		生活困窮者の自立支援及び適正な保護決定・実施												
取組の内容		①生活困窮者の自立支援を行います。 ②適正な保護の決定実施に取り組みます。 ③保護費の適正な処理を行います。												
指標（数値目標）		①他課や関係機関と連携し、相談・訪問等を随時行います。 ②情報共有、意識統一を図るため月1回課内会議を行います。 ③課税調査は、6月から7月にかけて実施し、8月分までの保護費に反映させるよう処理を行います。また、調査の結果、生活保護法第78条（不正受給に係る返還金）の処理を行う場合は、年度内に完了します。												
SDGs指標								達成時期			令和5年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生活困窮者自立支援の相談・訪問		→												
情報共有・意識統一・課内会議		→												
課税調査				→										
課税調査の法第78条処理						→								

指標 に対する 実績	①生活困窮者に対する自立支援のため相談者実人員170人に対し延べ320件の訪問及び面談を実施しました。 ②月1回（25日定例）の課内会議にて、ケースの問題点の共有や県の監査指摘の周知と改善について全職員に共通認識を図ることができました。 ③年内の処理は実行できませんでしたが年度内にはすべて反映させ、また課税調査で判明した10件について返還決定し返還計画等の処理を完了しました	
	評価	生活困窮者及び被保護者に対し、定期訪問や面談を通して生活実態を把握をすることで、他法を活用した支援を行い、また、業務改善により削減された訪問の時間を関係機関が開催する会議での情報共有及び課税調査を保護費に全ケース反映でき適法適正に基づいた保護費の支給につながりました。
評価記号	○	
今後の展開	引き続き、課内の全職員の意思統一を図るとともに関係機関と連携協議を行い迅速な対応と適正処理を実施することで生活困窮者や被保護者の最低生活の維持と自立を支援します。	


【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）

令和 4 年度

福祉保険部

組織目標と成果

課名等	保険課	全体	23
		個別	05-04

総合計画 の区分	挑 戦	つながりづくり											
	最優先課題	持続可能な福祉と医療の体制を整える											
項 目		高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施											
取組の内容		後期高齢者の健康の保持増進のため、3圏域で健診・医療・介護状況等のデータを把握分析し、関係部署と連携により圏域内の課題や支援対象者に応じた集団的支援と個別的支援に取り組みます。											
指標（数値目標）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別的支援（ハイリスクアプローチ） 各圏域支援実施者数を1人以上支援します。 ・ 通いの場等への関与等（ポピュレーションアプローチ） 北地区2か所以上 中地区1か所以上 南地区2か所以上 											
SDGs指標								達成時期			令和5年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連携会議・検討担当者会議		→											
実施計画書作成・データ分析		→											
保健指導等の実践		→											
事業の評価		→											

指標 に 対 す る 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別的支援（ハイリスクアプローチ） 北地区17人、中地区16人、南地区33人支援をしました。 ・ 通いの場等への関与等（ポピュレーションアプローチ） 北地区2か所、中地区2か所、南地区2か所支援をしました。 	
	評 価	<p>実績が向上していることは、行政側のアプローチに対する市民の理解が得られるようになったことが大きな要因と考えられます。事業実施をしている保健部署に所属する保健師・栄養士の地道な活動によるものであり、大きく評価できます。</p>
	評価記号	○
今 後 の 展 開	引き続き、高齢者の健康の保持増進のため、関係部署と連携を図り、地区ごとの課題や支援対象者に応じた集団的支援と個別的支援に取り組みます。	

【評価記号】◎（目標を上回る実績）、○（目標どおりの実績）、△（目標を下回る実績）、×（目標を著しく下回る実績）、－（評価不能）